

事業コード	H29-建-継-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(主) 秋田八郎潟線		担当課長名	参事(兼) 道路課長 石川 浩司
箇所名	五城目町町村		担当者名	副主幹(兼) 班長 太田 哲
プランとの関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	04	施策目標(指標)名	生活道路の機能強化

1. 事業の概要

事業期間	H25 ~ H30(6年)	総事業費	4.3億円	国庫補助率	65.45																																																								
事業規模	○延長L=1,075m、幅員W=6.0(8.5)m(1.25+3.0+3.0+1.25)m																																																												
事業の立案に至る背景	○主要地方道秋田八郎潟線は秋田市から八郎潟町に至る県道であり、当該計画区間のある馬場目地区の通勤、通学、通院等に利用される生活上、重要な路線である。また、計画区間は通学路指定区間であり、八郎潟町が実施主体となって運行している乗合タクシーのルートでもあるが、最小曲線半径がR=35mと屈曲しているほか、最小幅員が5.0mと狭隘区間が連続し、車両のすれ違いが困難で、特に堆雪により車道幅が制限される冬期においては危険な状況となっている。 ○生活道路として利用する地域住民の安全確保のため、早急に整備を行う必要がある。																																																												
事業目的	○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○通過交通の分離を図り、現道の歩行者、自転車利用者の安全を確保																																																												
事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>計画時</th> <th>評価時</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">事業内容 (単位:千円)</td> <td>事業費</td> <td>320,000</td> <td>430,000</td> <td>110,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>220,000</td> <td>324,000</td> <td>104,000</td> <td>軟弱地盤対策を実施したことによる増。埋蔵文化財調査に対応する仮設工の増。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>用補費</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>60,000</td> <td>66,000</td> <td>6,000</td> <td>埋蔵文化財調査費用の増。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>224,000</td> <td>281,435</td> <td>57,435</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>86,400</td> <td>133,700</td> <td>47,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>9,600</td> <td>14,865</td> <td>5,265</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td></td> <td>調査・設計 改良工 舗装工</td> <td></td> <td>国庫補助率の変更による</td> </tr> </tbody> </table>							計画時	評価時	増減	理由等	事業内容 (単位:千円)	事業費	320,000	430,000	110,000		経費	220,000	324,000	104,000	軟弱地盤対策を実施したことによる増。埋蔵文化財調査に対応する仮設工の増。	内訳	用補費	40,000	40,000	0		その他	60,000	66,000	6,000	埋蔵文化財調査費用の増。	財源内訳	国庫補助	224,000	281,435	57,435		県債	86,400	133,700	47,300		その他					事業内容		9,600	14,865	5,265		事業内容	調査・設計 改良工 舗装工		調査・設計 改良工 舗装工		国庫補助率の変更による
		計画時	評価時	増減	理由等																																																								
事業内容 (単位:千円)	事業費	320,000	430,000	110,000																																																									
	経費	220,000	324,000	104,000	軟弱地盤対策を実施したことによる増。埋蔵文化財調査に対応する仮設工の増。																																																								
	内訳	用補費	40,000	40,000	0																																																								
		その他	60,000	66,000	6,000	埋蔵文化財調査費用の増。																																																							
財源内訳	国庫補助	224,000	281,435	57,435																																																									
	県債	86,400	133,700	47,300																																																									
	その他																																																												
事業内容		9,600	14,865	5,265																																																									
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工		調査・設計 改良工 舗装工		国庫補助率の変更による																																																								
事業の進捗状況	○平成28年度末で事業進捗率55%(用地進捗率は100%)。																																																												
事業推進上の課題	○特になし(埋蔵文化財 周知の遺跡に関する本調査実施済み)																																																												
関連する計画等	○五城目町総合発展計画 ○五城目町地域公共交通網形成計画																																																												
情勢の変化及び長期継続の理由	○隣接する館越工区(H20~24)が供用済み																																																												
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">県道改良率</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">整備率(整備済み延長/路線実延長)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td>73.8%</td> <td></td> <td>データ等の出典</td> <td>道路課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td>75.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td>101.6%</td> <td></td> <td>把握の時期</td> <td>平成29年 4月</td> </tr> </table>					指標名	県道改良率				指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	73.8%		データ等の出典	道路課調べ	実績値 b	75.0%				達成率 b/a	101.6%		把握の時期	平成29年 4月																										
指標名	県道改良率																																																												
指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)																																																												
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																									
目標値 a	73.8%		データ等の出典	道路課調べ																																																									
実績値 b	75.0%																																																												
達成率 b/a	101.6%		把握の時期	平成29年 4月																																																									

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<p>○当該区間は幅員狭小 (車道幅員 4.5 m) 及び線形不良 (最小曲線半径 35 m) で、最急勾配も 7.7% となっており、交通事故の危険性が高い状況となっている。</p> <p>また、冬期堆雪帯がなく、1年を通じた交通の安全確保が望まれる。</p> <p>○通学路指定区間であるが、歩道が未整備の区間があり、車道を歩かざるを得ない。</p>	10点
緊 急 性	<p>○幅員が狭く、大型車が交差する場合は、待合いが生じているほか、車両と歩行者の接触事故も発生するなど危険な状況となっている。唯一の公共交通である乗合タクシーの走行ルートとなっているが、走行の安全性を確保するため、早急な整備が求められる。</p>	10点
有 効 性	<p>○五城目町地域防災計画では、避難所である馬場目地区公民館と町村地区以西の集落を結ぶ避難路として位置付けられている。救急医療施設である藤原記念病院 (潟上市) や湖東病院等の医療機関へのアクセス機能を兼ねる重要路線である。</p>	30点
効 率 性	<p>○事業の費用便益比は 1.0 であり、効率性は高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総便益の現在価値 5.4 億円 ・総費用の現在価値 5.2 億円 <p>○他工区で発生した土を盛土材として流用することでコスト削減を図っている。</p>	17点
熟 度	<p>○平成 28 年度末の事業進捗率は 55% である。</p>	18点
判 定	<p>ランク (<input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III)</p>	85点
	<p>緊急性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。</p>	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	<p>事業継続は妥当である。</p>	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

<p>コスト削減に努めながら、事業を継続する。</p>

4. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の対応方針を可とする。</p>

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

事業コード (H29-建-継-04)
箇所名 (五城目町町村)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	車道幅員4.5m 最小半径35m 最急勾配7.6% 冬期堆雪巾なし 計 4箇所	
		2箇所	6			
		1箇所	4			
		0箇所	0			
		計				
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・現道の旅行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	2	通学路指定歩道なし 計 1箇所	
		4件該当	6			
		3件該当	5			
		2件該当	4			
		1件該当	2			
		該当項目なし	0			
	計	15	10			
	緊急性	道路をとりまく環境等				
		関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	10	10	五城目町総合発展計画 五城目町地域公共交通網形成計画
なし			0			
計						
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等		あり	5	0		
	なし	0				
計	15	10				
有効性	道路の位置づけ					
	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7		
		該当しない	0			
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	藤原記念病院	
		該当しない	0			
	地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7	五城目町地域防災計画に避難路で位置付け有り	
		該当しない	0			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9	唯一の公共交通である乗合タクシーの運行ルートとなっており、通行の安全を確保することが必要		
	低下傾向 必要性が低い	6 3				
計	30	30				
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.0	
		1.0未満	0			
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	1,000台/日	
		1,000台/日以上~5,000台/日未満	3			
	コスト削減	あり	5	5	グレート盛土材として発生土を利用	
		なし	0			
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4	部分的ミニバイパス	
既投資額の部分的損失		4				
既投資額の損失が少ない		3				
計	20	17				
熟度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	8	進捗率55%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	進捗率100%	
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
未着手		0				
計	20	18				
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		